

【学生フォーラム】

学生環境活動の可能性

人間環境大学 環境サークルecoact 小林昭広

まず私達、人間環境大学・環境サークルecoactの活動理念と活動内容を紹介し、それらの活動をとおして知ったこと「活動には楽しさが必要」、「ネットワークの必要性」、「学生が環境活動をすることのメリット」を発表します。そしてそれらを踏まえて、学生環境活動にはどのような可能性が秘めているかということを発表します。

私は環境問題を解決するのに必要なセクターは行政、企業、市民団体の3つだと思います。しかし、行政は公平性を重視するあまり革新的な法律、施策を作ることは、難しいと思います。そして企業もいくら環境に配慮した経営をおこなったり、環境に配慮した商品を販売したとしても消費者のニーズが無く、利益を得ることが出来なければいけないので、こちらも革新的な経営は難しいです。しかし市民団体(NPO)は市民自ら活動するので、市民の声がダイレクトに活動に活かれます。利益や公益じゃなく、地球益を基準に活動を行う為、市民の環境への意識を高めてく活動や、企業や行政に行う提言も効果的にできます。企業も行政も市民からの声には敏感なので、そういう意味でも効果的です。そして私たち人間環境大学ecoactは学生版環境NPO(環境サークル)です。私たちは環境問題に対しACTIONをおこしたい、環境意識の高い仲間といたい、志の高い仲間といたいという思いをもっており、学生の意識を高めることを目的に活動してきました。

まずいいたいのは、環境活動などの社会貢献する活動は2つの意味で楽しくないといけないうことです。1つ目の理由は活動は楽しくないと続かないということです。ポピュラーなスポーツなどの団体は存在しているだけで人が集まることもあります。環境サークルにそれは当てはまりません。そして決まったときに大会があるわけでもないので時期によって行う活動も一定ではないので運営は難しく、しかも入れ替わりが激しいので活動しながらいろんなノウハウやmindを伝えていくのもとても難しいです。だからこそ真面目に活動するだけじゃなく、楽しく活動するのはとても大事です。もう1つの理由は、人に何かを伝えるとき真面目に語るだけではすべての人には伝わりません。多くの人に環境問題の重要性を理解してもらうには楽しく伝えること、楽しそうに活動することはやはり大事です。

このように環境活動に楽しさが大事と気づいたのはeco学園祭というイベントを通してでした。eco学園祭とは学園祭で排出されるごみのリサイクル率を向上させるなどイベント自体を環境に配慮したイベントにすることです。私達はその他にもブースで環境にやさしい生活を提案することで来場者の環境意識を向上させることも行いました。

一昨年に始めて行ったときは、ごみステーションを設置したり、リサイクルされる容器を導入してeco学祭を目指しました。しかしスタッフが苦しい思いばかりをしてしまったばかりか、効果的な活動を行うことはできませんでした。原因は「してあげてしまった」ってことでした。具体的には分別されずに捨てられたごみをスタッフが分別してあげてしまったり、容器を裏でスタッフが洗ってたりもしました。しかもそうやってしてあげることが、結果的に来場者の意

識を変えるチャンスを奪ってしまいました。去年の学園祭は一昨年反省を活かして、楽しく、より啓発効果の高い活動にするためにミーティングを重ね、来場者が意識して分別を「してくれる」ということを徹底。容器もはがせる容器という一風変わったものにし、ごみステーション（ごみ分別回収拠点）では音楽をかけてスタッフ自身も楽しみ、明るく対応しました。そして今年からブースを出展し環境にやさしい生活の送り方を提案するeco life展も行いました。それらの工夫もあり去年の学園祭では来場者自身も楽しみ、啓発も効果的に行えました。そしてがんばって活動した後は飲み会です。普段はまじめな話ばかりでもこのときばかりは盛り上がり、次の活動へのエネルギーとします。そういうわけで今年はecoに楽しくを達成できました。これからもeco actの活動として、定着していくと思います。

そして、私達は活動をする上で楽しさと同様にネットワークが大事だと思いました。それは私達eco actがeco学園祭という活動に出会えたのも学生環境活動の全国ネットワーク「エコ・リーグ」があったからでした。エコ・リーグ主催の交流イベントにいてeco学園祭という活動を知らなければこれほどまでの活動ができてなかつたらうし、先ほど言った環境サークルは人口の少なさから熱意が冷めやすくなりますが、全国に同じような仲間がいると知れることはモチベーションがあがるし、そういった仲間から活動のアドバイスを受けたり意見交換をしたりすることでいい活動が生まれます。

次に僕たちが活動を通じて知った学生が活動をするメリットを挙げたいと思います。まず1つ目に「学生は時間に余裕がある」ということです。私は一度仕事をやってたんで特に強く感じますが、仕事をしだすとほんとに時間がありません。夢の中まで親方ができて1日中仕事をしているようなときもありました。しかし学生なら授業によっては平日の昼間でも空いてるときがあるぐらいです。だから活動するにも、なにか勉強するにしても、遊びにくにしても大学生っていい時間だと思います。社会にでると集団の心理で10人中9人違う意見持ったとき、一人だけになった人は意見を言えないもんです。しばらくすると価値観もその組織に染まってしまう可能性は高いんじゃないでしょうか。僕も経験上感じたことですが、組織全体の価値観と自分の価値観が違ったときなかなか意見を言えないかと思えます、しかし学生はそんなに外部環境には影響を受けていません。2つ目はそんな学生の若い目は「社会にハッキリものがいえる」ということです。3つ目は「学生はパワーがある」ということです。そのパワーは行動にも活動の効果にもあらわれると思います。4つ目は「学生はアホがでる」ということです。学園祭のときに僕と他のメンバー3人で頭をecoと刈りアピールしました。先ほども述べましたが、ただ真面目に伝えるだけじゃ多くの人には伝わりません。このようにユニークで面白い活動ができるのも学生ならではだと思います。最近の若者はコミュニケーション能力不足とか言われますが、僕らの活動ではミーティングで自分の意見を言うとか、社会人と交渉とか、メンバーのやる気を引き出す方法とか社会に出てから学ぶようなことを体験でき、それはスキルアップにつながると思います。「学生はこれから社会にでて引っ張っていく存在」ということが5つ目です。大学生のうちに有意義な時間の使い方を学び、スキルアップし、社会に興味を持って行って欲しいです。以上の5つのメリットから分かるように、学生は良い社会を築くための大事な資源だと私は思います。

私達の活動経験から考える環境活動の可能性とは、学生に社会を変えるチャンスを与え、良い社会を築くための人材まで育てれるという可能性を持っていると思います。なのでこれからも学生環境活動がもっと盛んになることを望みます。eco actの今後の活動としては、学内のみでの活動ではなく地域へも視野を向け更なる飛躍を考えると共に、このように可能性を秘めたすばらしい場を守っていきたいと思います。